

キャリア形成と授業改善を目指すSDGsの視点を踏まえた資質・能力
テーマ「一人残らず学ぶ権利・機会を保障する」

～一人も独りにしない学びの実現のために～

ためし 最高!
～地元で学び 地元を活かし
地元とともに行動する子ども～



学校生活の中で取り入れる
持続可能な社会づくりの柱

- I 多様性(いろいろある)
- II 相互性(関わり合って)
- III 有限性(限りがある)
- IV 公平性(一人一人大切に)
- V 連携性(力を合わせて)
- VI 責任性(責任をもって)



為石小学校が目指す子ども像

「たのしくめあてをもってしっかり学ぶ ただしくめあてをしっかりと守る たくましくめあてに向かってしっかり鍛える」

生きて働く力	概念的な知識	地元よさや地元の人々の思いを理解することができる。	高齢者等の思いや願い、暮らしを支援する仕組み、地域環境の良さや課題を理解することができる。	平和、健康の大切さや平和を希求する人々の思いを理解することができる。	地元の人々やいろいろな職業の人々との関わりを通して、地元の独自性や多様な価値観を理解することができる。
	活用可能な技能	地元で昔からあるものを大切に扱ったり、地元のためにできることを実践したりする。	日常的に気持ちのよい挨拶をしたり、分かりやすい話し方をしたりして、高齢者等に適切に関わる。	自他を大切にするために、日頃から言葉遣いに気をつけて行動したり、健康のために規則正しい生活を送ったりする。	地元の活性化のためにできることを実践したり、地元の文化を継承したりしようとする。
	探究的な学習のよさの理解	地元を大切にしたいという自分たちの思いの変容は、地元よさや人々の思いについて探究的に学んだことによる成果であると気付く。	高齢者等への接し方やごみを分別する等の意識や行動の変容は、高齢者等とその暮らし、環境問題について探究的に学んだことによる成果であると気付く。	平和や健康を大切にしたいという自分の意識や行動の変容は、平和を希求する人々の思い等について探究的に学んだことによる成果であると気付く。	社会には多様な価値観があるとともに、自分の地元だけの魅力を大切にしたいという自分の意識や行動の変容は、地元よさや人々の思いについて探究的に学んだことによる成果であると気付く。
探究する力	課題の設定	課題を選んだり、見付けたりする。		自分で課題を見つけて意欲的に取り組む。	
		解決方法や手順を考え、見通しを持つ。		地元の人々等の思いを踏まえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見直しをもって追究している。	
	情報の収集	自分たちの身近なところから課題にあった情報を集めている。		目的に応じて手段を選択し、情報を収集したり、必要な情報を選んだりしている。	
		課題の解決に向け、目的意識をもって意欲的に取り組んでいる。		視点を明確にして、問題状況における事実や関係を収集している。	
整理・分析	自分と異なる意見や考えがあることに気付き、探究活動に取り組んでいる。		情報を整理し・分析し、自分なりの考えをまとめている。		
	調べた事柄を比較したり、関連付けたりする。		集めた情報を整理したり、それらを関連付けたりして、多面的に考察している。		
まとめ・表現	調べたことや分かったことを相手に伝わりやすく表現している。		相手や目的、意図に応じ、まとめ、表現している。		
	自分と地元のつながりに気付き、自分にできることを考えている。		学習の仕方をふりかえり、今後の学習や自分の生活に生かそうとしている。		
かかわる力	自己理解・他者理解・将来展望	異なる意見や他者の意見を受け入れて尊重しようとする。		探究的な活動を通して、自己の生き方を考え、夢や希望などをもとうとする。	
	主体性・協働性	自他のよさを生かしながら協力して問題の解決に向けた探究に取り組もうとしている。		探究的な活動を通して、進んで実社会・実生活の問題の解決に取り組もうとする。	